

## 学内登録団体

参加団体：東日本きずなプロジェクト

# 全国公立大学学生大会 (LINKtopos2020)

大会テーマ：再考

2020年9月26日(土)～27日(日)

## 報告



9月26日(土)、27日(日)の2日間、オンラインで「全国公立大学学生大会(LINKtopos2020)」が開催されました。

岡山の水害やコロナ禍での避難所運営といった社会の動きを踏まえてテーマを『再考』とした今大会ですが、都立大からは昨年に引き続き、被災地支援等を行っている「東日本きずなプロジェクト」の学生が参加し、グループワーク等を通して全国の学生と議論や交流を深めました。

## LINKtoposとは

全国公立大学学生大会(通称:LINKtopos)は、災害支援・防災をはじめ、地域活動を実践している公立大学生が全国から集まり、ポスターセッションを通じた発表や研鑽・交流を図るワークショップ等を実施する学生大会です。昨年は高知県で開催されました。

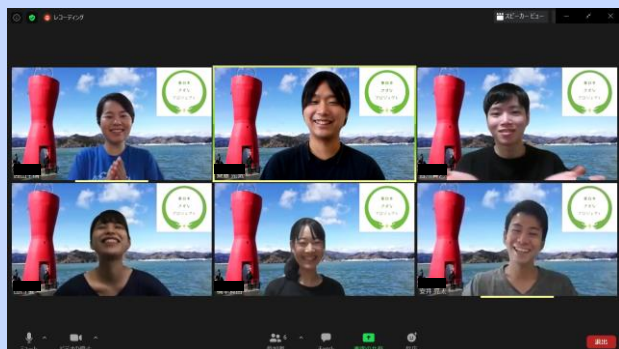
東日本大震災の際にボランティア活動を行った全国の公立大学の学生らが公立大学協会主催の復興支援に関するシンポジウムに集まったことをきっかけにして始まりました。

## 準備編：ポスターセッション動画の制作

同大会では、例年ポスターセッションを実施し、参加者が所属する団体や研究室などの取組を発表したり、意見交換をしたりしていましたが、オンライン開催となった今大会では、ポスターセッションの代わりに各団体が10分程度の発表動画を制作することとなりました。

本学では、8月下旬から9月の上旬にかけて東日本きずなプロジェクト学生とともに、その取組をまとめた発表動画の制作に取り組みました。参加した学生は、発表資料を作成するにあたり、改めて団体の活動を振り返ったり、先輩学生に聞いて学んだりしたことで、今まで知らなかった団体の歴史や、活動の意義についても気付くことができたと話していました。

## 発表動画を収録している様子



## 大会編：当日の様子

今大会では、主に2日間を通して「地域の共通課題を克服する企画書づくり」のワークショップに取り組みました。

アイスブレイクを通して全国各地の公立大学から集まった学生・教職員が交流することから始まった1日目は、ワークショップに関連する話題提供として、西日本豪雨で被災した下原・砂古自主防災組織の方や総社市危機管理室の職員の方から自主防災組織の動きやペットとともに避難できる避難所運営についての話をお聞きしました。

その後、テーマ(①性別 ②世代別 ③避難所運営)ごとに分けられた小グループで、それぞれの地域の課題を出し合い、その共通点から、テーマの解決策の検討を始めました。初めてのオンライン開催ということもあり、回線が不安定になったり、参加者同士の距離感がうまく掴めなかったりする場面は見られましたが、どのグループも初対面とは思えないほど熱心に話し合い、課題解決の具体策を検討していました。

2日目は、各グループの発表や地区別に集まる機会などがあがり、お互いの考えや取組を知ることができました。

参加した学生は、今大会を通して団体運営や今後の取組へのヒントを得ることができ、貴重な機会となったようでした。

## 参加者の声

- ・初対面の人とディスカッションすることや、自分の生まれ育った場所ではない地域の人々に思いを寄せることなどは、今後のサークル活動のみならず、自分の日々の生活や将来にも影響を与えてくれる良い経験になったと思います。
- ・「災害といえば」という問いに対して、地域ごとに台風や津波、大雪などはじめに思い浮かぶものが違うということを知りました。グループワークの発表の際、東北出身の方が「私は災害といえば大雪が思い浮かびますが…」と話していたことに驚きました。
- ・昨年はあまり防災に関する活動をしていなかったのですが、今回改めて防災の重要性を実感することができたので、何か防災に関するイベントを開きたいと思いました。また、短い時間で議論し、スピード感をもって団体に決定していけるということが分かったので、きずなの活動も工夫次第でもっと活発化させることができると感じました。
- ・「地域で運動会をしよう」という企画で、地域とは誰のことを想定しているのかという話になった際に、そもそも大学の周りは大学生しかいないと言われたことが印象的でした。自分が八王子の南大沢キャンパス周辺を想定してしか話していなかったことに気づかされました。
- ・他大学の学生の話や多くの団体が「コロナ禍でできることがない、現地との繋がりが薄れる」といった悩みを抱えていることが分かりました。このことで、きずながオンラインでの活動を続けていることや、現地(大槌町)の方とのオンライン交流を実施したことの重要性が改めて実感できました。